

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスみなのは波多江		公表日	令和 8 年 3 月 13 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習、活動、クールダウン室を分けて対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童10名に対して基準配置以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		雨の日等で滑りやすい時は裏口のエレベーターを使用し対応しています。	事業所が2階なので、階段を使用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		居室の換気、温度湿度の調整、消毒等を行い清潔な生活空間を提供しています。空気清浄機を設置しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン室（静養室）を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議等で振り返りを行っています。	会議等の時間を効率的に活用していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			今後、更なる業務改善に繋がってほしい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング、会議等で行っています。	意見を聞いているが、改善までに繋がっていない事もあり、更なる改善ができるように努めたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、第三者による外部評価も検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部、外部研修を実施しています。	研修の機会をもっと増やしていきたい。
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的なモニタリングを行い、計画の見直し等を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議等にて意見交換を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画に対して共有できていない部分もあり、職員全員が共通理解を持って支援を行うように努めていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察や保護者からの聞き取り、職員間での情報共有を通して、こどもの適応行動や発達状況の把握に努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、こどもの特性や保護者の意向を確認しながら具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当職員が立案し、それに対して話し合いを行い決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月ごとにプログラムを作成し、定期的に見直しを行うことで固定化しないよう工夫しています。	プログラム等に変化をつけているが、類似することもあるため、メリハリをつけていきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの特性や発達状況に応じて計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングの際、行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		情報の共有をその日に行っているが、その日に出来ない時は翌日に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児童の特性や発達段階を考慮し、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間で意見の交換を行い見直しを行っています。6ヶ月に1回以上は見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童の発達段階や興味に応じて活動を組み合わせ支援を行っています。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童の意思や気持ちを尊重しながら自己決定の力を育てる関わりを心掛けています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			今後、更なる連携構築を検討。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		SW等との情報の共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者の希望又は必要に応じて行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在、該当する利用児がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後、基幹相談支援センターと関係構築方法等を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後、更なる連携構築を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会に参加しています。	今後も参加できるようにしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時、連絡帳、連絡等にて情報の共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		担当者会議や面談等に情報の提供を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に児童や保護者の意思を尊重し、面談や相談の機会を設けて確認しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談等にて実施しています。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談がある場合は連絡にて対応しています。年に1～2回個人面談を行っています。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は年に1回、開催しています。令和7年9月26日に開催	次回、令和8年9月に保護者会を開催予定。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページに活動の様子を載せています。	今後、利用の状況や最新情報等をSNSを活用し、更なる発信を検討したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付書庫にて管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの特性に応じて分かりやすい言葉や視覚的支援を用い、保護者とも連絡帳や送迎時の説明を通して情報共有を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			今後、検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを見やすい位置に設置しています。(玄関)	ご家族へ周知が出来ていない事あるため、今後、保護者会等での再度の確認を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害に備え、定期的に避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。てんかんがある児童に対しては処方薬を預かり対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認しています。内部研修にてエビベンの使用方法を練習しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		契約時に確認、説明しています。	ご家族へ周知が十分でない事もあるため、今後、保護者会等での再度確認を行いたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に確認、説明をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティングにて情報の共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回虐待防止の研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に確認、説明を行っています。		